

# 令和7年 市政10大ニュース

令和7年はどんな年だったでしょうか？  
市民の暮らしに関わりの深い市政に関する出来事の中から、各分野で活躍中のみなさんに上位10項目を選考していただきました。

☎ 本庁舎広報室 (33番窓口) ☎ 0857-30-8008 ☎ 0857-20-3040

## 1位 鳥取駅に自動改札機、ICOCAが鉄道でも利用可能に

本市は、市民や観光客の利便性向上を目的に、公共交通へのキャッシュレスシステム(電子マネー)などで運賃を支払う)の導入を進めています。JR西日本が3月15日からICカード対応の改札機をJR鳥取駅、倉吉駅間の各駅に設置し、交通系ICカード「ICOCA」で列車運賃を支払うことができるようになりました。100円循環バス「くる梨」では、令和5年4月からICOCAを導入して、今回鉄道の駅にもICOCAが導入されたことで、1枚のカードで異なる公共交通機関に乗り込めるようになり、利便性が大幅に向上しました。



©Pokémon. ©Nintendo / Creatures Inc. / GAME FREAK inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャー・ゲームフリークの登録商標です。

## 2位 令和によみがえる！鳥取城大手門「中ノ御門」



「中ノ御門」は擬宝珠橋袂の「表門」(令和2年復元)と二階建ての「渡櫓門」で構成されています。令和7年に「渡櫓門」が復元されたことで「中ノ御門」全体が完成しました。「渡櫓門」は鳥取城内では初の室内空間を備えた本格的な城郭建築の復元で、伝統技術を駆使し、材料の加工や仕上げなど細部に至るまで、江戸時代の城郭建築が再現されています。4月26日には完成記念式典が行われ、多くの市民が中ノ御門のくぐり初めを行いました。

## 3位 大阪・関西万博で鳥取市の魅力をPR

4月から10月まで開催された大阪・関西万博は、国内外から訪れた多くの来場者でにぎわいました。本市は、6月6日に開催された「令和の万葉大茶会2025 飛鳥・万博大会」で「しゃんしゃん傘踊り」を披露したほか、7月1日の「今日は一日鳥取県」では、因幡の傘踊りが勇壮に舞われました。また、7月15日から21日まで関西パビリオンで開催された「とっとりフェス」お祭り縁日」に出展し、来場者に向けて観光PRを行いました。



## 4位 姉妹都市提携周年記念で交流事業 (山口県岩国市・福島県郡山市)



本市の姉妹都市である岩国市と姉妹都市提携30周年、郡山市と20周年を迎え、さまざまな記念事業が行われました。岩国・郡山両市長を鳥取しゃんしゃん祭にお迎えしたほか、深澤市長の両市訪問、イベントへの物産ブース出展、小学生の学校給食を通じた交流などが行われ、両市の歴史を振り返り親交を深めました。

## 5位 わらべ館オープン30周年！



童謡・唱歌とおもちゃのミュージアム「わらべ館」は、平成7年に開館し、オープン30周年を迎えました。開館記念日の7月7日は入館無料となり、コンサートなど30周年を記念したイベントが開催されました。子育て世代からは「子どもの時代以来久しぶりに来た」という声も聞かれ、親子二世代で楽しまれています。

## 6位 「因幡・但馬麒麟のまち創生総合戦略」を策定



麒麟のまち圏域ではこれまで、単独の市町では解決が困難な課題を共有しながら、連携して圏域全体の持続的・一体的な発展に取り組んできました。この連携は、国が進める「地方創生2・0」の実現につながる重要な取り組みであり、さらに深化・発展させ効果的に推進するため、「圏域版の総合戦略」を策定しました。

## 7位 鳥取砂丘の魅力がさらに充実！



鳥取砂丘は、大阪・関西万博開催や砂の美術館第16期展示「砂で世界旅行・日本」の人気などもあり、国内外からの多くの観光客でにぎわいました。8月からは、観光二次交通の強化を図るため、市街地や鳥取砂丘を結ぶ観光シェアサイクルと鳥取砂丘東西間を周遊するタクシーを定時運行する実証事業を実施しました。

## 8位 「新たな文化施設の整備に関する基本構想」の策定を進める

市民の文化芸術活動の拠点となる市民会館、文化センター・ホール、福祉文化会館の4施設は、稼働から50年前後が経過し、施設・設備の老朽化などの課題を抱えています。再編に向け、市民アンケートやワークショップ、有識者会議を開催し、今後の考え方を定める「新たな文化施設の整備に関する基本構想」の策定に向けた取り組みを進めました。

## 9位 「市政改革プラン(第8次鳥取市行財政改革大綱)」を策定

本市の健全な行財政運営を推進するため、「明るい未来のための安定的で持続可能な行財政基盤の確立」を基本目標とする、市政改革プランを策定しました。令和7年度から11年度までの5年間の計画期間として、組織体制の強化や人材確保、民間活力の利用など、幅広い分野にわたって取り組みを実施していくことで、基本目標の達成を目指します。

## 10位 「株式会社スマートエネルギーとっとり」を設立し事業を開始

地域脱炭素の取り組みを一層加速し推進させるため、本市を含む5者共同で「株式会社スマートエネルギーとっとり」を設立し、1月から事業を開始しました。戸建住宅などへ太陽光発電設備や蓄電池、高効率給湯器を導入し、効率的な需給調整により再生可能エネルギーの地産地消を推進する取り組みなどを展開しています。

その他、東京2025世界陸上ジャマイカ代表選手団の事前キャンプ、鳥取市公式LINEの登録者5万人突破など、さまざまな出来事があった一年でした。

選考委員 (選考会は令和7年11月25日開催)	
鳥取市自治連合会	会長 土橋 周美 さん
鳥取市文化団体協議会	会長 塩谷 義勝 さん
鳥取市社会福祉協議会	会長 林 由紀子 さん
(一社)地域サポートネットワークとっとり	代表理事 山口 朝子 さん
とっとり若者地方創生会議	会長 石川 妃奈穂 さん
鳥取市政記者クラブ	会員 榎井 映志 さん
鳥取市政記者クラブ	会員 阿部 優歩 さん
鳥取市政記者クラブ	会員 作野 俊介 さん
鳥取市議会	議長 星 健蔵 さん
鳥取市	市長 深澤 義彦 さん